

# 木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(20年7月分)

1. 調査実施期間 平成20年 6月20日 ~7月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

7月分の回答企業数は40社、回収率は83.3%である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		20/7月	8月	9月
仕入動向	国産材	△ 9.7	△ 16.1	△ 11.7
	外材	△ 3.9	△ 19.7	△ 13.5
販売動向	国産材	△ 14.5	△ 17.7	△ 1.7
	外材	△ 10.5	△ 19.7	△ 2.7
在庫動向	国産材	△ 11.3	△ 11.3	△ 13.3
	外材	△ 5.4	△ 8.1	△ 9.7

仕入は、国産材、外材ともやや大きなマイナス幅へ拡大気配で弱含み。

販売は、国産材、外材ともやや大きなマイナス幅を一気に縮め、マイナス基調の中でも先行き明るさ伺える。

在庫は、国産材、外材ともマイナス幅でほぼ横ばい。

## (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	20/7月	8月	9月
スギ正角(グリーン)	△ 4.5	△ 2.3	△ 2.4
スギ正角(KD)	△ 4.5	△ 4.5	△ 2.4
ヒノキ正角	△ 2.2	△ 4.3	2.3
ヒノキ土台角	△ 2.2	△ 4.3	2.3
米ツガ正角(現地挽)	△ 2.5	0.0	2.5
米ツガ防腐土台角	2.2	2.2	2.3
米ツガ割物(現地挽)	7.1	4.8	4.8
米マツ平角	△ 2.3	2.3	2.4
北洋アカマツタルキ(現地挽)	38.1	23.8	25.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 2.3	△ 2.3	0.0
レッドウッド集成平角	5.3	2.6	5.3
型枠合板(国産)	27.8	16.7	9.4
型枠合板(輸入)	31.6	18.4	13.9
針葉樹合板	44.7	34.2	22.2

スギ正角(グリーン、KD)小さなマイナス幅に変化なく堅調。またヒノキ正角、土台、小さなプラス幅へと回復して期待大きい。

米ツガ正角、割物、防腐土台ともプラス幅で安定し好調である。米マツ平角も先行きプラス幅と明るさ引き継ぐ。

北洋アカマツタルキは一段の大きなプラス幅で、絶好調と強固。WW管柱ゼロ幅と漸く回復の様相、またRW平角はプラス幅で安定して好調。

合板(針葉樹を含む)は大きなマイナス幅若干縮めるが回復揺るぎなく一層の強含み。

1. 荷動き		コメント
仕入 動向	米マツ一般材丸太では、米材輸出価格は6月積みも据え置いたが、7月積みは若干アップの様相。カナダ材FASはセカンドグロス、カスケードとも強く、特にピーラータイプは全く手が出せない程強い。(東京:問屋)	
	相変わらず産地価格は強い。日本向けから撤退する工場も増えており、先行きが心配。(東京:問屋) カナダ材の入荷先行きに不安あり。販売不振と産地高唱えに入荷が絞られる見込み。(東京:問屋)	
販 売 動 向	現地の出材は鈍いが国内の荷動きも悪く、仕入れを控えている。(東京:問屋)	
	円安とフレートの上昇で原価は上がるが売値の上げは難しそう。(東京:問屋) ツガ、マツのグリーンはともに減少している。(東京:問屋)	
在 庫 動 向	連日のようにメーカーから売り込みの電話が来る。(東京:問屋)	取扱い量微小。(東京:問屋)
	売上げ不振で、仕入れ、売りとも低調。(東京:問屋)	市場も動き悪い。(東京:問屋)
販 売 動 向	仕事少なく、先のことを考えると仕入れも弱気になる。(東京:問屋)	
	構造材が悪いが羽柄材は細かいながら動いている。在庫積み増しまでは行かない。年末まで一進一退状態か。(東京:問屋)	
販 売 動 向	京浜米マツ丸太市況は連休明け後の最悪期は脱したものの、プレカット需要が盛り上がりメーカー在庫は捌けていない。(東京:問屋)	
	受注件数は増えているが価格面で厳しい上に即納が多く、資金繰りを圧迫。(東京:問屋) 7月は少し荷動きが出ると思う。プレカットが決まりつつある。(東京:問屋)	
在 庫 動 向	ツガ、マツのKD角材は多少動きが良い。(東京:問屋)	徹底の当用買いに打つ手なし。(東京:問屋)
	加工材の注文が増えて来ているが細かく納期が無い。(東京:問屋) 見積りは以前より増えているが、相見積りが多い。(東京:問屋)	
在 庫 動 向	散発的に仕事はあるが、全体には低迷状態。(東京:仲買小売)	
	新築の話は全く無いが、リフォーム関係、店舗関係が動いてきた。一息ついている。(東京:仲買小売) 弊社と同一区内に7社、隣接区内にも7、8社のホームセンターがあり競合している。豊富な在庫、破格の安値で工務店や需要者に売られている。その影響で弊社の商いも先が見えてきた。(東京:仲買小売)	
在 庫 動 向	6月に米材丸太の大量入荷があったため、各問屋手持ち在庫は多い。特にカスケードタイプの入荷が多かったため。在庫量は増えている。(東京:問屋)	
	産地の天候不順や価格高から引き続き入荷量は少なく在庫量も減少。欠品が目立つ。(東京:問屋) 当面はバランスが取れるが先行き急速に絞られる見込み。(東京:問屋)	
在 庫 動 向	価格は今が底と思ひ、慎重ながら仕入れはしている。(東京:問屋)	
	業界の流通が完全にストップした状態。(東京:仲買小売) 出荷量が落ち、仕入量増えも減りもせず。(東京:仲買小売)	
2. 価格動向		
スギ正角	市場で安値販売が目立つ。(東京:問屋)	
ヒノキ正角	端境期のため丸太の注文材は難しい。(東京:問屋)	
ヒノキ土台角	相場は弱く、55,000円。なかには50,000円を切る物もある。米ヒバ土台は60,000~65,000円に。(東海:問屋)	
米ツガ	価格変動なし。(東京:問屋)	
米マツ平角	需要が出ない限り値上げは無い。(東京:問屋)	
北洋アカマツ タルキ	原木減少により内地の製材品単価は大幅アップ。(東京:仲買小売) 産地強気だが当用買い位。(東京:仲買小売) 外税方式に決まったようで見通しがつきやすくなったのでは?(東京:仲買小売)	
WW・RW 集成材	需要減のため価格は弱含み。(東京:問屋) 当面弱含むと思う。(東京:問屋) 無垢材が割安のため中々価格は上がらない。(東京:問屋)	
合板	針葉樹合板やと需給バランスがとれてきて価格も上昇。今月850円程度まで上がりそう。(東京:仲買小売) メーカー品不足を唱え強気。何時まで続く?(東京:仲買小売) 価格は上げて売れず、下げても売れず、それなら横ばいに設定という感じ。ホームセンター価格を見るとこの価格動向が空しく感じる。(東京:仲買小売)	

不鮮明のため、掲載できないコメントがありました。お詫びいたします。  
 たくさんの生の声をお聞かせくださいますようお願いいたします。